

地域医療連携だより

2021.7
第48号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111 (大代表)
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



医療支援センター長就任のご挨拶



医療支援センター長 篠原 尚
(上部消化管外科 診療部長)

本年度より医療支援センター長を拝命致しました。2016年5月の本学上部消化管外科着任以来、先生方には食道癌、胃癌を中心に多くの患者さんをご紹介いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、社会に甚大なダメージを与えた昨年初来の新型コロナウイルス感染症は、本邦の医療システムにもデジタル化という新たな課題を突き付けました。これまで医療支援センターが担ってきた病診・病病連携を円滑に進める役割や患者さんへの多面的なサポート体制についても、オンライン、ペーパーレスでのやり取りを含めた見直しが求められています。来るべきIoT時代に向け、我々と致しましても紹介患者さんの待ち時間の短縮を図り、より満足度の高い診療を提供できるような布石を打ちたいと思います。コロナ禍で、「地域医療懇談会」や「市民健康フォーラム」といった当センターの恒例行事が、昨年は軒並み中止を余儀なくされましたが、今年度はWebを使った開催を予定しています。第一弾として、7月より土曜日の朝に「兵医サタデーモーニングセミナー」をZoomで定期配信いたします。当院専門医による最新の情報発信にご期待ください。

医療支援センターは、患者さんや地域の先生方との窓口となる重要な部署と心得ております。病気で不安を抱えた患者さんが前向きな気持ちでご来院いただけるように、また、先生方に大切な患者さんを安心してご紹介いただけるように、「患者さんに選ばれる兵庫医大病院・地域に選ばれる兵庫医大病院」をセンターのキャッチフレーズといたしました。スタッフ一同、皆様のお役に立てるよう明るく元気に頑張っております。ご支援よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍における当院の対応と地域での役割

感染制御部 部長 中 嶋 一 彦



兵庫医科大学病院は2020年1月以降のCOVID-19患者の発生に対し、阪神医療圏域の重症、重篤な患者さんを専門的に治療する役割を担っています。6月23日までに140名余りの重症患者を受け入れ治療を行ってきました。また、阪神医療圏域では数少ないECMOなど高度治療を行うことができる医療機関として、いわば重症患者の最後の砦となっています。第4波では、重症病床の不足から兵庫県西部地域など広域な地域からの受け入れも必要でした。一方で、軽症、中等症の患者さんは阪神地区の他の医療機関での治療をお願いし、他医療機関の御協力のもと1人でも多くの重症患者さんを受け入れるようにしています。こういった体制はCOVID-19が流行する以前から、保健所や阪神医療圏域の医療機関と研究会や研修会を通じて阪神地区の感染対策の向上を図っていたことによるものです。第4波からは、さらに多くの医療機関と情報の共有を行っています。COVID-19の抑制の鍵となるワクチン接種では、当院は多数の職員や学生に短期間でワクチン接種する必要があり、当初は手探りの状態でした。6月以降は地域一般住民への接種や職域接種も始まり、多数の人にワクチン接種を行うノウハウと共に、接種会場への医師、看護師、薬剤師を派遣し一刻も早いワクチンの普及に努めています。

皮膚科診療部長就任のご挨拶

皮膚科 診療部長 金 澤 伸 雄



2020年10月1日より皮膚科主任教授／診療部長を拝命しましたので、ご挨拶申し上げます。本学皮膚科では、「患者さんの皮膚の悩みに寄り添う」をモットーに、地域の中核病院や開業医の先生方と連携し常に最新の情報を共有することによって、患者さんの病状を的確に診断し最も適した治療を提供する事を目指します。具体的には、乾癬やアトピー性皮膚炎・悪性黒色腫などに対する分子標的薬や生物学的製剤の導入、重症薬疹や自己免疫性水疱症、膠原病などに対するステロイド大量療法や免疫抑制剤による治療、皮膚生検・全身検索・アレルギー検査や遺伝子検査による確定診断、皮膚良性・悪性腫瘍の切除植皮、血管奇形や静脈瘤・皮膚潰瘍の精査加療、皮膚悪性リンパ腫に対する紫外線療法などが必要な患者さんがあれば、是非当院皮膚科にご紹介ください。アレルギー、臨床遺伝、東洋医学、がん治療の各専門医が責任を持って対応します。さらに医学医療の進歩のため、臨床研究によって皮膚疾患の診療に役立つエビデンスの構築を目指します。兵庫医科大学病院皮膚科を今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年秋、「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」内に 「兵庫医科大学梅田健康医学クリニック」が誕生 ～都会で働くオフィスワーカーの健康増進をサポート～

地域の人々の健康を守る大学病院を設置する法人として、より多くの方の健康維持に貢献するため、また先進的な医療を提供する大学病院をより身近に感じていただくために、現在建設中の「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」13階に、2022年秋、人間ドック・企業健診などを手がける「兵庫医科大学 梅田健康医学クリニック」が開設します。

兵庫医科大学は「病気を治療する」ことはもちろんのこと、病気になる前の“未病”の段階で体に関する異変などを発見・改善できるように、2015年4月、「兵庫医科大学 健康医学クリニック」を開設し、健診事業に力を入れてきましたが、この度開学50周年事業の1つとして、その機能を大阪梅田へ移転することになり、これまで以上に多くの人々の健康増進を図っていきます。

【名 称】 兵庫医科大学 梅田健康医学クリニック

【設置場所】 大阪梅田ツインタワーズ・サウス（大阪市北区梅田1丁目13番1号）13階医療フロア

【面 積】 約350坪（1,150平方メートル）

【開設時期】 2022年秋（予定）

【特 徴】 「人間ドックエリア」（人間ドック・企業健診：MRI、CT、内視鏡3室など）のほか、「クリニックエリア」（外来診察室3室、処置室など）において保険診療を実施し、内科をはじめ、大学病院のサテライトとしての専門外来も開設予定となっています。本ビルで働くワーカーをはじめ、大阪梅田を拠点とする人々の健康をサポートしていきます。



梅田健康医学クリニック完成予想図



大阪梅田ツインタワーズ・サウス完成予想図

「立体駐車場」「デッキ棟」がオープンしました

2021年4月1日、患者さんの利便性に配慮し、従来よりも駐車台数を増やした新しい立体駐車場の稼働を開始しました。また、ともに完成した隣接の「デッキ棟」には、保険調剤薬局を併設しました。従来の立体駐車場の跡地には、2026年に新病棟開院を予定しています。

【立体駐車場の特長】

駐車台数が100台以上増えた(480台→587台)ことで、周辺道路の混雑緩和が期待できます。また、津波避難ビルとしての役割も担うことで地域に貢献します。

【デッキ棟の特長】

患者さんの利便性を高めるため、2階に保険調剤薬局を開設。また、デッキ棟が完成したことで、学生と教職員が常駐している教育研究棟(2階の玄関)からメインフロアに出入りできるようになりました。



立体駐車場 南西面外観



デッキ棟 東側外観



兵庫医科大学病院からのお知らせ

2021年度の開院日について

当院では、ハッピーマンデーの一部(敬老の日、成人の日)を開院日とし、安心・安全な医療の提供を整えております。

2021年度は、下記の祝日を通常の診療体制といたしますので、お知らせいたします。

※閲覧 URL : <https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/news/detail/433>

敬老の日 2021年9月20日(月) **成人の日** 2022年1月10日(月)

※上記開院日につきましては、紹介予約受付時間を8時30分～16時45分とさせていただきますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かけられます。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

※医療機関専用ホットラインとなっておりますので、この電話番号を患者さんへ提供することはお控えください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

0798-45-6812(救急科医師)

循環器疾患と思ったら

080-2475-7380(循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

080-2529-8239(脳神経外科医師)

画像転送用アドレス : hyougo.nougeka@gmail.com